

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道117号 替佐～静岡バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長野県	
起終点	自：長野県下水内郡豊田村替佐 至：長野県飯山市静岡	延長	7.7 km			
事業概要	一般国道117号は、長野県長野市から新潟県小千谷市に至る延長約111kmの幹線道路である。替佐～静岡バイパスは、本路線唯一の未改良区間であり、幅員狭小、線形不良区間の解消及び、上信越自動車道豊田飯山ICへのアクセスを目的とした延長7.7kmの2車線道路である。					
H元年度事業化	都市計画決定 なし	H3年度用地着手	H5年度工事着手			
全体事業費	約91.4億円	事業進捗率	72%	供用済延長	4.4 km	
計画交通量	8,200 台/日					
費用対効果分析結果	B/C :	総費用 : (残事業)/(事業全体) 27 / 42億円 (事業費: 23/38億円) (維持管理費: 4/4億円)	総便益 : (残事業)/(事業全体) 49 / 49億円 (走行時間短縮便益: 35/35億円) (走行費用減少便益: 14/14億円) (交通事故減少便益: 0/0億円)	基準年 :	平成15年	
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市へのアクセスが向上する） ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される） 他2項目に該当（定量的評価項目を除く）					
関係する地方公共団体等の意見	特に冬期間の安全な通行の確保の要望が高く、飯山市をはじめとする1市1町4村で構成する「一般国道117号改良促進長野県期成同盟会」より整備促進の要望(平成15年10月22日)を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成9年10月に上信越自動車道が新潟県中郷まで開通にあわせ、豊田飯山ICから飯山市へのアクセス向上のため終点側の整備を先行させた。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成9年に終点から豊田飯山ICまでの間4.4kmを供用し、飯山市街からのアクセスが向上した。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	未完成区間3.3kmの工事を進めており、引き続き工事を進め早期供用を目標としている。					
施設の構造や工法の変更等	歩道計画の見直し、縦断計画の見直しによりコスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、残区間を整備することにより、当初の目的が達成されると考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。